

花のころ

平口 哲夫

寒明けて草花に降る白きもの
ツワブキの心知りてか蜂一匹
ハナバチの訪れうれし花器の菊
逆境の秋明菊に花ひとつ
咲き誇る芙蓉の花に小雨降る
ドクダミの花かたわらに咲かぬ華
コロナ危機サクラめげずに咲き誇る

ウクライナに平和を

平口 哲夫

若草教会 2022 年 3 月 20 日第 3 主日礼拝の週報には「今ウクライナと周辺地域において苦しみ傷ついている全ての人々のために祈りをささげましょう。そして主の平和によって一日も早く戦争が終わるように世界中のキリスト者とともに心をあわせて祈りましょう。」と記されている。

私が執行理事を担当している世界連邦運動協会は、2 月 28 日付で「ロシアによるウクライナ侵攻を非難する声明」を発表。その声明文を掲載したニューズレター第 670 号(3 月 28 日発行)の編集後記に連名で「国連安保理常任理事国 5 カ国(中・露・仏・英・米)は、拒否権を持つものだから、国連憲章を守る義務と責任は他の理事国とは比べものにならないくらい大きい筈なのに、ほかならぬロシアがプーチン大統領に牛耳られるまま国連憲章第 2 条に違反して武力侵攻、一般市民を犠牲にする無差別攻撃を繰り返し、原子力発電所まで攻撃、核兵器使用さえほのめかすありさま。この現実に唾然・慄然とし、義憤に駆られながら本号の編集に従事した。国連の限界を見せつけられ、改めて国連改革と世界連邦の実現の必要性を痛感する。」と記しておいた。

(すなどりNo.231から転載)